

科 目 名	グローバル・スタディーズ Global Studies			担当教員	内田由理子・山岡健次郎		
学 年	5 年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	17220053	単位区別	履修
学習目標	・グローバル化の進展する現代世界を考察するための基本的な視点を身につける。 ・ジェンダー概念の重要性を学び、国境を越えた国際的な諸課題を自分の問題として考える。 ・グローバル化時代におけるナショナリズムという課題を主体的に考察する。						
進め方	講義形式で授業は行っていくが、重要なトピックに関しては、学生との議論を通して論点の整理を行っていく。また、必要に応じて視聴覚教材も活用していく。学期末試験とその他、適宜レポートなどの提出物を課す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1.ジェンダー概念（1） 2.メディアとジェンダー（1） 3.貧困・教育とジェンダー（1） 4.性と生殖に関する健康と権利（2） 5.暴力とジェンダー（2） -----			貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。 A3:1-3			
	6.暴力とジェンダー（2） 7.結婚とジェンダー（1） 8.宗教とジェンダー（1） 9.農村開発とジェンダー（1） 10.結婚とジェンダー（1） 11.政策とジェンダー（1）			貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。 A3:1-3			
	前期末試験						
	12.解答と解説（1） 13.ナショナリズムをめぐる概念整理（3） 14.国民国家という枠組み（2） 15.帝国とナショナリズム（2） -----			グローバル化が進行する一方で、各国においてナショナリズムの動きが顕著となってきた。そうした世界情勢を歴史的な観点から考察し、一国に縛られることのない越境的な視座を獲得していく。 A3:1-3			
	16.民族自決論とは（2） 17.ナショナリズムの歴史的類型（2） 18.グローバル化時代のナショナリズム（2） 19.ナショナリズムという難問（1）			グローバル化が進行する一方で、各国においてナショナリズムの動きが顕著となってきた。そうした世界情勢を歴史的な観点から考察し、一国に縛られることのない越境的な視座を獲得していく。 A3:1-3			
	後期末試験						
	20. 解答と解説（1）						
評価方法	定期試験（70%）、提出物（30%）によって評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	公民Ⅱ（3学年）→グローバル・スタディーズ（5学年）						
教 材	『民族とネイションーナショナリズムという難問』（岩波新書、塩川伸明）						
備 考	前期では具体的な社会問題（重たいテーマも含む）を取り上げ、後期では理論的な問題を中心に扱っていく。 オフィス・アワー（月曜 16：00～17：00）						